

# 札幌市営企業調査審議会（令和2年度第2回病院部会）

## 1 開催形態

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面による開催

## 2 開催期間（意見聴取期間）

令和2年11月12日（木）～12月2日（水）

## 3 出席委員（11名）

荒木委員、金子委員、河原委員、今委員、紺野委員、菅原委員、竹之内委員、名本委員、早坂委員、平本委員、渡辺委員

## 4 審議内容

### 議題1「部会長及び部会長代理の選出について」

部会長及び部会長代理の選出について、各委員からの意見を伺い、下記のとおり部会長及び部会長代理を定めた。

部会長 今 真人 委員（一般社団法人札幌市医師会副会長）

部会長代理 早坂 浩司 委員（株式会社北海道医療新聞社常務取締役）

### 議題2「令和元年度決算の概要について」

### 議題3「市立札幌病院中期経営計画の進捗状況について」

### 議題4「市立札幌病院における新型コロナウイルス感染症への対応について」

別紙のとおり。

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
荒木委員	意見	<p>経常収支が黒字になったことは、中期経営計画に基づいて取組を進めた結果と思います。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響は今後も続くと思いますが、感染症指定医療機関としての役割を果たしつつ努力を続けてください。</p>	<p>昨年度の経常黒字の達成により、経営改善のためには中期経営計画の取組の着実な実行が重要であるとあらためて感じたところです。</p> <p>11月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市内の医療提供体制の逼迫により、当院でも感染症用病床を拡充して治療にあたっているところであり、引き続き感染症指定医療機関としての役割を果たしてまいります。</p>
金子委員	質問 (議題2、議題3)	<p>令和元年度の経常収支が黒字転換したこと、さらに中期経営計画を上回る結果が得られたことは、全職員、特に経営幹部の経営努力によるものと敬意を表します。</p> <p>ただし、中期経営計画の具体的な個々の目標値に対して、必ずしも実績値が追い付いていない項目もあります。次年度への課題と思いますが、次年度は新型コロナウイルス感染症でかなり厳しいものと予想されます。どのように総括しておられますか。</p>	<p>令和元年度の実績では、全16指標のうち、目標を達成した指標は7指標(資料3-1の◎の指標)となっています。</p> <p>目標未達成の9指標のうち、2指標(①救急車等搬送件数、②手術実施件数)は新型コロナウイルス感染症の影響がなければ目標に届く見込みでしたが、その他の7指標(③病床利用率など)が目標に届かなかったことは今後の課題です。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に対応するため、一般病床の一部を休床としている影響もあり、御指摘のとおり各指標の目標値を大きく下回る見込みです。</p> <p>当面は新型コロナウイルス感染症への対応が続くと考えられますが、経常黒字を継続的に達成できるよう、コロナ後も見据えた検討を進めてまいります。</p>
	意見 (議題2、議題3)	<p>患者数について、入院患者数が増加し、外来患者数が減少したことは、中期経営計画で述べられているように市立病院の使命である「市民の最後の砦としての病院」を具現化するように進んでいることと思います。</p>	<p>救急患者や紹介患者を断らずに受け入れるための取組を進めてきたことで、入院患者の増加につながっているものと考えております。</p> <p>現在は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、一般診療を制限せざるを得ない状況ではありますが、できる限り感染症への対応と一般診療の両立を図ってまいります。</p>

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
	質問 (議題2、 議題3)	<p>給与費が昨年度より増加しています。これは診療報酬の増加が示しているように仕事量の増加によるものと思います。職員の時間外手当と看護補助員の増加によるものとのことですが、具体的内容をお示しください。</p> <p>また、時間外手当の増加によるものについて、職員の時間外労働時間の最大時間は1か月あたり何時間でしょうか。</p>	<p>職員の時間外手当については、令和元年度は前年度より看護師数が20名弱少ない状況下（年度末比較）で、前年度に比べて高い病床利用率と短い在院日数を実現したことが影響しているものと考えております。</p> <p>また、看護補助員については、看護における加算の取得を維持するために、非常勤職員を増やしたものになります。</p> <p>職員の1か月当たりの時間外労働の最大は、医師職で140時間程度、事務職で100時間程度、現場看護師で70時間程度となっております。</p>
	質問 (議題3)	<p>患者満足度（入院、外来ともに）若干低下しておりますが、具体的な低下の内容はどのような理由によるものでしょうか。</p> <p>また、職員の満足度はいかがでしたか。</p>	<p><b>（患者満足度調査について）</b></p> <p>令和6年度の目標達成に向け、年度ごとに前年度を上回ることを目標として取り組んでおります。</p> <p>令和元年度の結果は、計画と比較すると下回っておりますが、実績については、外来は前年度と同値、入院は前年度を上回っているところです。特に外来アンケートでは、待ち時間のアナウンスに対する意見が多く出されており、満足度を高めるためにはこの点を改善する必要があると考えております。</p> <p>今後、外来診察室付近での密集・密接を避けるために、受付番号を院内のモニターやスマートフォンに表示することで診察時間が近づいたことをお知らせするシステムを今年度中に導入する予定で、この取組を含めて、アナウンスに対する患者満足度の改善を図ってまいります。</p> <p><b>（職員満足度調査について）</b></p> <p>総合評価は前年度から微減であり、全国と同規模病院の平均を下回る結果となりました。また、①職場環境に関すること、②管理に関すること、③業務に関すること、について改善を求める意見が多く出ていました。</p> <p>この結果を踏まえ、第三者による業務負担改善を目的とした業務改善の支援、職員の提案・相談窓口の利用推進及び管理者のマネジメント能力向上を目的とした研修の実施等の取組を進めています。</p>

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
	質問 (議題3)	救急車の搬入数が昨年度より減少しています。札幌市全体の救急車搬送の件数は増加していますが、市立病院での減少についてはどのように検討されているのでしょうか。	令和元年度の救急車等搬送件数は、令和2年1月までは取組の成果が上がり、順調に増加傾向にありました。 しかし、令和2年2月以降は、新型コロナウイルス感染症患者受入れのために救急患者の受入れ制限を行なったことの影響により、年間実績としては前年度を下回り、目標達成に至りませんでした。 令和2年度においても、新型コロナウイルス感染症患者受入れ病院の中核的な役割を果たしながら、市内救急医療体制の維持に貢献すべく、可能な限り3次救急・2次救急の受入れを続けております。
	意見	COVID-19の診療については、本当に頭が下がります。職員の皆様には十分な感染予防をされてご健闘ください。	あたたかいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。皆様のお声を励みにして、今後とも診療にあたってまいります。
河原委員	質問 (議題2)	資料2「(2)経常収支」2ページの表で、人件費増になっており、看護補助員の増と時間外手当の増とありますが、人員が増えても、それでもまだ人手不足という現状なのでしょうか。	看護師の不足を現有の職員で補っているため、時間外勤務が増えているものがありますが、看護師については、採用後の育児関係休務も多く、現場に必要な人員数を下回っている状況にあります。
	質問 (議題3)	資料3-1の<基本目標2>の表⑥について、「かかりつけ医」への転医について患者の理解を求める取組を実施していて、何割ぐらいの理解が得られていると思われますか。	患者全体における割合は把握しておりませんが、転医については、お一人おひとりの御理解を得たうえで、行っていたいております。
	意見 (議題4)	資料4「3 経営への影響」では、新型コロナウイルス感染症の患者の受入れ数が増えて大変多忙な状況と察しますが、収益は減少で、複雑に感じます。	新型コロナウイルス感染症の治療には一般診療よりも多くの看護師が必要となるため、感染症用に確保する病床以上に一般診療の病床の休止が必要となることから、収益が減少している状況です。 このような状況のため、「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を積極的に活用し、収支の改善を図っております。

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
紺野委員	意見 (議題2)	10月に新聞報道でも読みましたが、令和元年度の経常収支が6年ぶりに黒字になったのは、職員の皆様の努力の結果だと考えます。	経常黒字の達成は、救急患者及び紹介患者の受入れや、入院単価を高めるための取組を職員が一体となって進めてきたことが、結果として現れたものと考えています。 あたたかいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。
	意見 (議題4)	市民病院としての役割を十分果たしていると考えます。減収は仕方がないので、交付金を積極的に、有効に活用してください。 どうかくれぐれもクラスターを発生させないよう、お気を付けください。	減収分については、「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を積極的に活用し、収支の改善を図ってまいります。 市中感染の広がりにより、クラスターの発生リスクが高まってきているところですが、院内感染の防止に関する取組を徹底しながら、引き続き診療にあたってまいります。
菅原委員	意見	コロナ禍における貴病院をはじめ、医療関係者の皆様に感謝と御礼を申し上げます。	あたたかいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。皆様のお声を励みにして、今後とも診療にあたってまいります。
	意見	書面開催時の説明資料について、会議開催時は、担当の方からの口頭でのご説明がありますが、書面開催においては、いただいた資料だけではわかりにくい面があります。 今後の書面開催時には、もう少し詳しい説明文が必要だと思います。	会議資料の説明が不足しているとのことで、誠に申し訳ございません。 今後の書面開催時には、口頭説明がなくてもわかりやすくなるよう、資料の構成を工夫してまいります。
竹之内委員	意見 (議題4)	新型コロナウイルス感染者が急増する中で、日々ご尽力いただいている皆様に感謝申し上げます。 コロナ患者受入れのため減収となっているとのことですが、この非常時においては市民の命と健康を守ることが市立札幌病院の最優先の使命だと思いますので、今後も必要な予算措置を講じて万全の体制を維持していただきたくお願いいたします。	あたたかいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。皆様のお声を励みにして、今後とも診療にあたってまいります。 当面は新型コロナウイルス感染症への対応が継続することが見込まれますが、今後も、感染症指定医療機関として、治療に必要な設備・機器の整備や、院内感染防止対策の強化を行いながら、引き続き患者の治療にあたってまいります。

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
名本委員	質問 (議題2)	<p>数値上、延外来患者数が平成30年度から令和元年度の間、6,949人減少した要因は資料2のP5の※にあるように「令和元年度から、入院中に他の診療科を受診した患者を含めずに外来患者数を算出し、当該算出方法に合わせて、平成30年度決算の数値を算出した」ことによると解釈してよろしいでしょうか。</p> <p>なお、平成30年度中の「入院中に他の診療科を受診した患者数」を教えてくださいませんか。</p> <p>また、平成30年度から令和元年度の間で実質的に外来患者数が何名減少したのか、かつ延入院患者が増加した要因や延外来患者が減少した要因を教えてくださいませんか。</p>	<p>平成30年度の延外来患者数307,581人と、令和元年度の延外来患者数300,632人は、いずれも入院中に他の診療科を受診した患者を含めない人数のため、6,949人が実質的に減少した外来患者数となります。</p> <p>また、平成30年度の「入院中に他の診療科を受診した患者数」は、83,452人となります。</p> <p>延入院患者数の増加は、紹介患者の増加等によるものですが、延外来患者数の減少は、地域の医療機関への逆紹介を進めていることに加え、令和2年2月以降の新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものと考えています。</p>
	質問 (議題2)	<p>資料2のP2「経常収支」で平成30年度から令和元年度の間「診療収益」が増加した要因として「高額な薬品や医療材料の使用に伴う診療単価の増加」が挙げられていますが、どのような疾患に対してなぜ薬品や医療材料が高額化したのか、また今後とも診療単価が高額化する可能性があるのかを教えてください。</p>	<p>がん患者に対する外来化学療法及び免疫療法等に用いる注射薬品費が増加したこと、また、全身麻酔手術等に用いる医療材料の使用が増加したことにより、診療単価が増加したものと考えています。今後も、薬品の公定価格や医療材料の保険償還価格の変動、新薬の開発等によって、増加する可能性があります。</p>
	質問 (議題3)	<p>市民の最後の砦となる感染症指定医療機関として多くの重症患者や中等症患者を受け入れ治療に日夜奮闘されている市立病院の医師・看護師・関係者の皆様方に深く感謝しております。</p> <p>既定の中期経営計画は策定時に予測もしていなかった新型コロナウイルスの影響で変更を余儀なくされていると思います。従いまして、大変な状況下ではありますが、今、現計画の進捗状況等を議論するよりも計画の見直しを早急に行い、変更した計画や進捗状況について部会で十分に検討を行うことが重要であると思いますが、今後の計画変更予定等について教えてください。</p>	<p>あたたかいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。皆様のお声を励みにして、今後とも診療にあたってまいります。</p> <p>令和元年度の経常収支の黒字化達成は、中期経営計画に掲げた取組を着実に進めたことによるものであり、今後も計画に掲げた使命・役割・目標等の基本的方向性に変更の予定はありませんが、計画に記載している収支の見通し等については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、今後精査してまいります。</p>

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
	質問 (議題3)	新型コロナウイルスの影響を把握するうえで資料3-1の令和2年度における上半期の各指標の実績値を教えてくださいませんか。	<p>令和2年度上半期の実績(速報値)は以下のとおりです。</p> <p>①救急車等搬送件数 1,068件(年間目標 3,700件)</p> <p>②手術実施件数 2,588件(年間目標 7,140件)</p> <p>③病床利用率 61.2%(年間目標 86.0%)</p> <p>④外来化学療法加算算定件数 2,305件(年間目標 4,200件)</p> <p>⑤紹介患者数 4,526人(年間目標 13,400人)</p> <p>⑥長期処方患者率 43.4%(年間目標 34.5%以下)</p> <p>⑦PET-CT稼働件数 418件(年間目標 1,070件)</p> <p>⑧初期研修医 22人(年間目標 20人)</p> <p>⑨専攻医(後期研修医) 23人(年間目標 26人)</p> <p>⑩看護補助員(夜間) 22人(年間目標 25人)</p> <p>⑪DPC特定病院群 維持(年間目標 維持)</p> <p>⑫リハビリテーション実施単位数 49,604単位(年間目標 110,000単位) (※⑬⑭⑮⑯は未確定)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対応に伴う一般診療の制限により、目標値を下回る指標が多くなっています。</p>
	質問 (議題3)	資料3-1の基本目標3の⑨「専攻医の確保」が、令和元年度時点において目標の26人に対して実績が17人であり、この目標を達成するのはかなりハードルが高いと考えられますが、新型コロナウイルスへの対応も踏まえて今後どのように専攻医を確保していく予定なのか教えてください。	<p>平成30年度より開始された新専門医制度へは、4つの研修プログラムを策定のうえ、専攻医(3年目～5年目)の受入れを行っております。主に医師の派遣をしていただく大学医局との調整により人員が配置される状況ではありますが、ホームページ等で専攻プログラムの広報を続け、人員の確保に努めているところです。</p> <p>今後は、人材育成に向けて専攻医と併せて取組を進めている研修医(1年目、2年目)について、着実に採用数を増やしてきていることから、そのまま当院を選択しやすい環境の整備に向け、検討を進めていきたいと考えております。</p>

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
	意見 (議題4)	<p>新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、マスメディア等により様々な情報が発信されていますが、一般市民としては最も身近で頼りになる市立病院における感染患者の受入状況・体制や診療状況等を的確かつタイムリーに把握できれば不安も少なくなり、適切な判断も可能になるのではないかと考えています。</p> <p>従いまして、広報やインターネットだけではなく刻々と変わる状況に合わせて市立病院の現場の生の声や最新情報・各種助言等について、マスメディア等を通じて発信していただけないでしょうか。</p>	<p>当院は感染症指定医療機関として非常に多くの患者を受け入れており、医師・看護師等一丸となって最前線で治療にあたっております。</p> <p>現在、非常に多くの感染症患者を治療していることから、診療に専心することを最優先としており、外来・入院診療に関する情報等につきましてはホームページ等でお知らせしています。</p> <p>なお、時々状況に応じて対応可能な範囲でマスメディア等からの取材を受け、感染患者の受入状況等をお伝えしているところですが、今後とも状況に応じて発信に努めてまいります。</p>
早坂委員	意見	<p>中期経営計画の初年度である、令和元年度の実績値をみますと、病院全体での取組の成果があらわれているのではないかと思います。</p> <p>次年度以降、PDCAを実践しながら、引き続き経営の健全化、市民のための最後のとりでとして取り組んでいただきたい。</p>	<p>昨年度の経常黒字の達成により、経営改善のためには中期経営計画の取組の着実な実行が重要であるとあらためて感じたところです。</p> <p>当面は新型コロナウイルス感染症への対応が継続するものと考えておりますが、経営の健全化を進めながら、当院の使命を果たしてまいります。</p>
	意見	<p>今年1月の新型コロナウイルス感染者の発生から、感染症指定医療機関としての重責を担ってこられ、治療にあたっている医師、看護師をはじめとした、スタッフの方々に感謝申し上げます。</p>	<p>あたたかいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。皆様のお声を励みにして、今後とも診療にあたっております。</p>
	質問	<p>出口が見えない中、新型コロナウイルスと闘っている皆様には、大きなストレスを抱えているのではないのでしょうか。</p> <p>院内スタッフの方々の勤務体制や休憩、メンタルヘルスケアの取組など、労務管理についての取組を教えてください。</p>	<p>新型コロナウイルス対応病床の病床数や稼働状況に合わせて看護職員の配置変更を行い対応しておりますが、平常時とは異なる状況下で、ストレスを感じながら業務に従事しているのは事実です。</p> <p>そのため、過度な負担感を感じることのないよう、日常的なコミュニケーションを密にするほか、産業医及び衛生委員会委員長（副院長）を相談員とする「心身の健康問題に関する相談窓口」を開設し、メンタルヘルスケアの取組を行っています。</p>



委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
平本委員	質問 (議題3)	<p>資料3-1&lt;基本目標5&gt;患者サービスを充実させ、より快適な療養環境を実現します に関して</p> <p>入院、外来とも満足度が目標に到達しなかったように見受けられます。この理由はどこにあると分析なさっていますか。また、満足度を向上させるためには、いかなる方策をお考えですか。</p> <p>今年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大でいわば非常時ですから、通常どおりの方策で満足度を高めることを考えるよりは、新型コロナウイルス感染症のとりわけ重症患者・中等症患者の治療および市内諸病院への情報提供などが優先されるべきだろうと考えております。</p> <p>そのうえで、ある程度新型コロナウイルス感染症についての目途が立った時点で、どのような方策を講じるかについて、お聞かせいただければと思います。</p>	<p>令和元年度の結果では、特に外来アンケートにおいて、待ち時間のアナウンスに対する意見が多く出されております。</p> <p>今後、外来診察室付近での密集・密接を避けるために、受付番号を院内のモニターやスマートフォンに表示することで診察時間が近づいたことをお知らせするシステムを今年度中に導入する予定です。これにより、新型コロナウイルス感染症などによる院内感染の対策に資するとともに、患者満足度の改善も期待できるものと考えております。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症への対応が落ち着いたのちに患者満足度調査を行い、調査結果を検証して満足度を向上させるための方策を検討していきます。</p>
	意見	<p>資料3-1に示される中期計画の進捗状況で示される指標は、ほとんどが量的な内容です。その中において、患者満足度は（パーセンテージという意味では量的指標ではありませんが）数少ない質に関する指標ですので、他の指標とは少し違う意味で重要性が大きいものと考えます。</p>	<p>患者満足度は、患者やその家族に安心感を与え、快適に過ごすことができる院内環境を整えるなど、患者サービスの向上を図るための大きな指標と捉えております。</p> <p>継続してサービス向上に取り組み、令和6年度の目標を達成できるように努めてまいります。</p>

委員	区分	質問・意見	事務局からの回答
渡辺委員	質問 (議題3)	<p>&lt;基本目標3&gt;⑨ 専攻医（後期研修医）について、R1目標26人に対して、実績は17人で、マイナス9人となっているがその要因は？</p> <p>また、今後人員確保に向け、強化していく方策はあるのか教えて欲しい。</p>	<p>平成30年度より開始された新専門医制度へは、4つの研修プログラムを策定の上、専攻医（3年目～5年目）の受入れを行っております。主に医師の派遣をしていただく大学医局との調整により人員が配置される状況ではありますが、ホームページ等で専攻プログラムの広報を続け、人員の確保に努めているところです。</p> <p>今後は、人材育成に向けて専攻医と併せて取組を進めている研修医（1年目、2年目）について、着実に採用数を増やしてきていることから、そのまま当院を選択しやすい環境の整備に向け、検討を進めていきたいと考えております。</p>
	質問 (議題4)	<p>日々感染拡大しているなか、コロナ患者向けに確保した病床がどのような状況なのか、病床使用率も含めて教えて欲しい。</p>	<p>10月までは、当院で新型コロナウイルス感染症患者向けに確保している病床57床のうち、約2割～3割程度を使用している状況でしたが、11月以降の感染拡大を受け、市内の病床の使用率が満床に近づいたため、市保健所からの要請に基づき、11月11日に70床に拡充したところです。</p> <p>しかしながら、その後も市内の新型コロナウイルス感染症患者向け病床の逼迫が見込まれたため、11月下旬に110床まで拡充し、治療にあたっておりますが、12月に入っても、市内の病床には余裕がない状況が続いています。 (病床の推移を別図にまとめました。)</p>

(別図)

